

COSMETIC CASING

Publication number: JP10108724

Publication date: 1998-04-28

Inventor: KIM SAN YON

Applicant: KIM SAN YON

Classification:

International: A45D33/00; A45D33/18; A45D33/00; (IPC1-7):

A45D33/00; A45D33/00; A45D33/18

European:

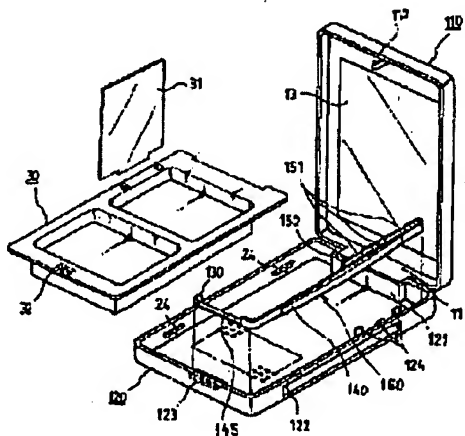
Application number: JP19970027333H19970128

Priority number(s): KR19960032448; 19961001

Report a data error here

Abstract of JP10108724

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cosmetic case the cover of which is conveniently open- operated by opening the cover with a single hand grasping the cosmetic case. **SOLUTION:** Concerning the cosmetic case, the cover 110 is elastically opened with respect to a main body 120 with hinge parts 111 and 121 at the center. The main body 120 is provided with a main body hook 130 movably arranged at the front inner center of the main body 120 and elastically engaged with a cover hook 112 to close the cover 110 with respect to the main body 120, a push-in part 140 elastically mounted to one side surface of the right and left side surfaces of the main body 120 and formed integrally with the main body hook 130, a supporting piece 124 supporting the fixing end (elastic piece 150) of the part 140 and a long hole 122 exposing a part of the part 140 to the outside of the main body 110.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-108724

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月28日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
A 4 5 D 33/00	6 1 0	A 4 5 D 33/00	6 1 0 F
	6 2 5		6 1 0 A
33/18		33/18	6 2 5 A
			C

審査請求 有 請求項の数 9 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平9-27333

(22) 出願日 平成9年(1997) 1月28日

(31) 優先権主張番号 1 9 9 6 U 0 3 2 4 4 8

(32) 優先日 1996年10月1日

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 597019207

キム サン ヨン

韓国, インチョン, プビュンーク, サンゴ
クードン, ヤウオン アパート 2-410

(72) 発明者 キム サン ヨン

韓国, インチョン, プビュンーク, サンゴ
クードン, ヤウオン アパート 2-410

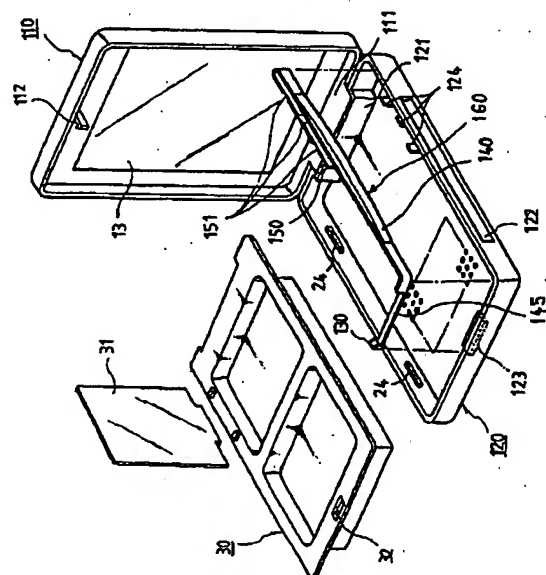
(74) 代理人 弁理士 竹本 松司 (外4名)

(54) 【発明の名称】 化粧品容器

(57) 【要約】

【課題】 化粧品容器を把持している一方の手だけを用いて蓋を開放することができ、蓋の開放操作が便利な化粧品容器を提供すること。

【解決手段】 本体120に対して蓋110が蝶番部111, 121を中心として弾性的に開放可能とされる。本体120の前部内側中央に移動可能に配置されると共に、蓋フック112と弾性的に係合して蓋110を本体120に対して閉じた状態とする本体フック130と、本体120の左右の側面のうち一方の側面に対して弾性的に装着されると共に、本体フック130と一体に形成された押込部140と、押込部140の固定端(弾性片150)を支持する支持片124と、押込部140の一部を本体110の外部に露出させる長孔122とを本体120に設ける。



110...蓋
120...本体
112...蓋フック
130...本体フック
140...押込部
150...弾性片
124...支持片
122...長孔

【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体と、前部内側中央に蓋フックが突設された蓋とが、これらの後部内側で弾性部材が内蔵された蝶番部により、前記本体に対して前記蓋が前記蝶番部を中心として弾性的に開放可能とされ、前記本体には化粧品を収納するための収納体を収容されるようにした化粧品容器において、

前記本体の前部内側中央に移動可能に配置されると共に、前記蓋フックと弾性的に係合して前記蓋を前記本体に対して閉じた状態とする本体フックと、前記本体の左右の側面のうちの一方の側面に対して弾性的に装着されると共に、前記本体フックと一体に形成された押込部と、前記押込部の固定端を支持する支持片と、前記押込部の一部を前記本体の外部に露出させる長孔とを前記本体に設けたことを特徴とする化粧品容器。

【請求項2】 前記押込部の自由端に前記本体フックが一体に形成されると共に、該押込部の固定端が前記本体の内側面に弾性的に支持され、前記自由端と固定端との間の一部が前記本体の長孔を介して外部に露出されたことを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項3】 前記押込部が前記本体の右側面に弾性的に装着されたことを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項4】 前記押込部が前記本体の左側面に弾性的に装着されたことを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項5】 前記押込部の固定端は、前記押込部と一体に形成された弾性片により構成されることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項6】 前記本体は、前記本体フックの移動を案内するガイド部を備えることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項7】 前記押込部は、前記本体フックの支持杆と90度をなして一体に形成され、矩形状の本体に装着されることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項8】 前記押込部は全体にわたって相違する曲率の湾曲体とされ、ハート形状の本体に装着されることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【請求項9】 前記押込部は全体にわたって同一の曲率の湾曲体とされ、円筒型の本体に装着されることを特徴とする請求項1に記載の化粧品容器。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば、ファンデーション、パウダ、ボールタッチ、リップスティック、アイシャドー等の化粧品を保管し、特に、使用者が1つの手で蓋を開放させるようにした携帯用の化粧品容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 例えば、コンパクト等のような化粧品容

器は、通常的に女性がハントバックに携帯して頻繁に使用する化粧用品であるから、小形化ならびにファッションを意識したデザインとされている。

【0003】 図7は、従来のコンパクト型の化粧品容器の斜視図であり、図8は、図7の化粧品容器の蓋を開放して分解して示す斜視図である。化粧品容器1は、蓋10と本体20とが一侧先端で蝶番部11及び21により結合され、蝶番部11及び21を中心に互いに折り畳むようになっている。蓋10と本体20を連結する蝶番部11、21は、弾性部材（図示せず）により弾性的に支持され、蓋10を本体20に対して開放する方向に付勢されている。

【0004】 図8に示すように、蓋10の先端縁内側にはフック12が一体に形成され、蓋10の内面には女性が化粧時に顔を見るように鏡13が取り付けられている。また、本体20の先端縁には長孔22が設けられ、該長孔22の両側にはそれぞれ支持片が一体に形成されている。収納体30は、各種の化粧品を収納するためのもので、多数の収納空間に区分されるよう形成され、必要に応じて蓋31を具備することもある。

【0005】 収納体30の両側部は、本体20の内側面に突設された挿着用突起24に掛止されて本体20内に装着される。収納体30の一侧には、蓋10に設けられたフック12を挿通させる長孔32が設けられている。

【0006】 また、図8に示すように、本体20の内側において、フック12に対応する位置には、押し部材40が装着されている。押し部材40は、本体20の前面中央近傍に形成された通孔22に挿入されるコ字形状をなす押し部41と、押し部41と一体に形成されると共に、本体20の支持片23に結合される結合片42と、フック12に係合される掛止突起43とを備え、蓋10のフック12を掛けるようになっている。

【0007】 このものは、掛止突起43が、本体20の先端に形成された通孔22に長手方向前後に移動可能に挿入されており、フック12が掛止突起43に掛止された状態で掛止突起43を包囲している押し部材40の押し部41を押して掛止突起43を後方に移動させると、掛止突起43に掛止されたフック12を解除させ、これにより蓋10は、蝶番部11及び21の弾性部材の復帰力を受けて開く。

【0008】 前述したように、従来の化粧品容器1の押し部材40は、常に上方向に蝶番部11、21の弾性力による力を受けている蓋10を安定に掛止させるために、即ち、蓋10を左右方向均一な力で支持するために、本体20の先端中央に配置されている。

【0009】 従って、蓋10を開くためには、フック12を掛けている掛止突起43を押して掛止解除する時、押し部材40が中央に位置するから、本体20をつかんでいる手（ここでは左手で本体20をつかんでいるとする）では、押し部材40を押すことが非常に困難で

あり、蓋10を開放するためには必ず両手を用いなければならないといった難点があり、蓋10を開く際に不便さがあった。

【0010】より具体的に説明すると、図7乃至図8に示す化粧品容器1を左手を使用して正常に把持する場合、本体20の下面は左手の平と接触し、左手の5本の指中で親指は本体20の左側面20aと接触し、残りの4本の指は本体20の右側面20bと接触するから、押し部材40を押す場合には右手を用いて行わなければならない。

【0011】したがって、従来の化粧品容器1において蓋10を開放させるためには、必ず両手を用いるという不便な点があるばかりでなく、しかも押し部材を本体の中央一側に配置しているため、使用者は、押し操作を行う際に、押し部材の位置を確認するという煩わしさもあった。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、化粧品容器を把持している一方の手だけを用いて蓋を開放することができ、蓋の開放操作が便利な化粧品容器を提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の化粧品容器は、本体と、前部内側中央に蓋フックが突設された蓋とが、これらの後部内側で弾性部材が内蔵された蝶番部により、前記本体に対して前記蓋が前記蝶番部を中心として弾性的に開放可能とされ、前記本体には化粧品を収納するための収納体を收容されるものであって、上記課題を解決するために、前記本体の前部内側中央に移動可能に配置されると共に、前記蓋フックと弾性的に係合して前記蓋を前記本体に対して閉じた状態とする本体フックと、前記本体の左右の側面のうちの一方の側面に対して弾性的に装着されると共に、前記本体フックと一体に形成された押込部と、前記押込部の固定端を支持する支持片と、前記押込部の一部を前記本体の外部に露出させる長孔とを前記本体に設けたことを特徴とするものである。

【0014】請求項2に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部の自由端に前記本体フックが一体に形成されると共に、該押込部の固定端が前記本体の内側面に弾性的に支持され、前記自由端と固定端との間の一部が前記本体の長孔を介して外部に露出されたことを特徴とするものである。

【0015】請求項3に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部が前記本体の右側面に弾性的に装着されたことを特徴とするものである。

【0016】請求項4に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部が前記本体の左側面に弾性的に装着されたことを特徴とするものであ

る。

【0017】請求項5に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部の固定端は、前記押込部と一体に形成された弾性片により構成されることを特徴とするものである。

【0018】請求項6に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記本体は、前記本体フックの移動を案内するガイド部を備えることを特徴とするものである。

【0019】請求項7に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部は、前記本体フックの支持杆と90度をなして一体に形成され、矩形状の本体に装着されることを特徴とするものである。

【0020】請求項8に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部は全体にわたって相違する曲率の湾曲体とされ、ハート形状の本体に装着されることを特徴とするものである。

【0021】請求項9に記載の化粧品容器は、請求項1に記載の化粧品容器において、前記押込部は全体にわたって同一の曲率の湾曲体とされ、円筒型の本体に装着されることを特徴とするものである。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、本発明に係る第1実施形態の化粧品容器を示す斜視図であり、図2は、図1の化粧品容器を分解して示す斜視図である。図1乃至図2において、図7乃至図8に示す従来の化粧品容器1と同一の要素は、同一の符号を付しており、これらの要素に対する詳細な説明は省略する。

【0023】化粧品容器100は、矩形状の蓋110と矩形状の本体120とが各々後方内側に弾性部材（図示せず）が内蔵された蝶番部111及び121により、蓋110は蝶番部111を中心として本体120に対し弾性的に開放可能とされている。蝶番部111に対向した蓋110の前側縁の内側中央には、蓋フック112が突設され、本体120の内側には、図8に示す収納体30と同一の収納体30が収納されている。

【0024】本体120の前縁の内側中央には、蓋110に設けられた蓋フック112と弾性的に係合され、蓋110を本体120に対して閉じた状態を維持させる本体フック部130が移動可能に配設されている。

【0025】該本体フック部130は、その支持杆部145の先端に上方に向けて一体に突設されている。支持杆部145の基端は、本体フック部110を移動させる押込杆部140と所定の角度（この場合、90度）をなして押込杆部140の一端部と一体に形成されている。また、押込杆部140の他端部には、押込杆部140の他端を内側に向けて屈曲してなる弾性片150が一体に形成され、本体フック部110、支持杆部145、押込杆部140及び弾性片150が一体的に形成されて押し

部材160が構成されている。

【0026】なお、支持杆部145及び押込杆部140とにより、請求項1における押込部が構成されている。また、押込部の固定端は弾性片150により構成されている。

【0027】なお、弾性片150は、押込杆部140の他端部に屈曲連設された基端から先端に向かうにつれて、押込杆部140との間隔が広くなるよう形成されている。

【0028】本体120の前縁の内側中央には、押込杆部140が押された場合、これと一体の本体フック部130の摺動を案内するガイド部123が設けられ、本体120の右側面には、本体120の長手方向に向けて長孔122が穿設され、本体120の右側面の内側後方寄りには、本体120の右側面に沿って前述の弾性片150を係止する複数個の支持片124、124、124が本体120の内底面から突設されている。

【0029】なお、図2に示すように、弾性片150には、本体120に突設された複数の支持片124、124、124が挿入結合される複数個の凹溝151、151、151が形成されている。

【0030】図3は、押し部材160の本体120に対する配置状態を示す化粧品容器の一部破断平面図である。図3に示すように、押込杆部140の一部が本体120の右側面に設けられた長孔122を通して本体120の外側に露出され、本体フック部130を先端に一体に備えた支持杆部145が、本体120の前縁の内側中央に設けられたガイド部123に配置され、弾性片150が、その複数個の凹溝151、151、151に、本体120に突設された複数の支持片124、124、124が挿入結合されており、押し部材160は、その弾性片150が本体120の支持片124、124、124に支持されることにより、本体120の右側面120bに向けて弾性的に装着されている。

【0031】また、図2に示すように、本体フック部130は、収納体30の長孔32と一致して下部側に配置され、蓋フック112は、収納体30の長孔32を通して本体フック部130と係合する。

【0032】以上のように構成された化粧品容器100の組み立ては、まず、本体フック部130を本体120の前縁内側に設けたガイド部123の下側に挿入し、押込杆部140の中間部を本体120に設けられた長孔122に挿入し、弾性片150の各凹溝151を本体120側の各支持片124に係合する。このように、押し部材160の組み付けが完了した後、収納体30を本体120の内部に装着して組み立てが完了する。

【0033】図4(a)は、蓋を閉鎖した状態を示す化粧品容器の概略断面図であり、図4(b)は、蓋を開けた状態を示す化粧品容器の概略断面図である。使用者が蓋110を開くため押込杆部140を本体120の内側

に向けて押すと、本体フック部130がガイド部123に案内され、本体120の内側縁に沿って図4(a)の左方に移動し、本体フック部130と蓋フック112との係合が外れ、蓋110は、蝶番部に内蔵された弾性部材の付勢力により、図4(b)に示すように開く。

【0034】また、押し部材160を本体120に組み付けた状態にあつては、弾性片150の弾性力により、押込杆部140の一部が本体120の長孔122から露出されているから、本体フック部130は、押込杆部140に矢印方向に外力が加えられない限り、図4(a)に示すように、常に係止状態を維持している。

【0035】図2の化粧品容器100を左手を用いて正常的に把持する場合、本体120の下面は左手の平と接触し、左手の5本の指中で親指は本体120の左側面120aと接触し、残りの4本の指は本体120の右側面120bと接触することになる。

【0036】この場合、蓋110を開くためには、容器100を把持している指のうち、親指を除く4本の指のうち少なくとも1つを用いて押込杆部140を本体120の内側に向けて押し込む。すると、図4(a)を用いて説明したように、本体フック部130が矢印方向に移動し、本体フック部130と蓋フック112との係合が外れ、蓋110は、蝶番部に内蔵された弾性部材の付勢力により、図4(b)に示すように開くから、使用者は、右手を用いず、左手だけを用いて化粧品容器100の蓋10を開くことができる。

【0037】また、図2の化粧品容器100を右手を用いて正常的に把持する場合、右手の5本の指中で親指は本体120の右側面120bと接触し、残りの4本の指は本体120の左側面120aと接触することになる。

【0038】この場合、蓋110を開くためには、容器100を把持している指のうち、親指を用いて押込杆部140を本体120の内側に向けて押し込むことにより、図4(b)に示すように開くから、使用者は、左手を用いず、右手だけを用いて化粧品容器100の蓋10を開くことができる。

【0039】なお、第1実施形態の化粧品容器100において、本体120の右側面120bに押込杆部140を弾性的に装着しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、本体120の左側面120aに押込杆部140を弾性的に装着してもよい。この場合には、化粧品容器100を左手の平上にのせる場合、親指で押込杆部140を押すことができ、化粧品容器100を右手の平上にのせる場合、人差し指乃至薬指で押込杆部140を押すことができる。

【0040】図5は、本発明に係る第2実施形態の化粧品容器を示す分解斜視図であり、図6は、図5の化粧品容器の平断面図である。第2実施形態の化粧品容器において、第1実施形態の化粧品容器と同一な符号は、同一部品を示すから、これらに環しては詳細な説明は省略す

る。

【0041】図5乃至図6に示すように、第2実施形態の化粧品容器200は、押込杆部240は、ハート形の本体220と蓋210の湾曲した側部湾曲面に合わせ、全体にわたって相違する曲率の湾曲体とされ、その一端に本体フック部230を一体に形成したものである。これらの機能は、第1実施形態のものと同一であるから各機能についての説明は省略する。

【0042】

【発明の効果】本発明の化粧品容器によれば、蓋フックと弾性的に係合して蓋を本体に対して閉じた状態とする本体フックと一体形成されている押込部が、本体の左右の側面のうちの一方の側面に対して弾性的に装着されているため、化粧品容器を把持した状態で、化粧品容器を把持している一方の手だけを用いて押込部を本体に対して押し込むことができ、押込部を押し込むことにより本体フックが移動して本体フックと蓋フックとの係合が解除されて蓋が開放されるから、化粧品容器を把持した状態で、化粧品容器を把持している一方の手だけを用いて蓋を開放することができ、蓋の開放操作が容易で便利である。

【0043】また、押込部の一部が本体に設けられた長孔から外部に露出されているため、押し部の位置を確認する煩わしさもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る第1実施形態の化粧品容器を示す斜視図

【図2】同上の化粧品容器を分解して示す斜視図

【図3】同上の押し部材の本体に対する配置状態を示す化粧品容器の一部破断平面図

【図4】同上の蓋の閉鎖及び開放を示す化粧品容器の概略断面図

【図5】本発明に係る第2実施形態の化粧品容器を示す分解斜視図

【図6】同上の化粧品容器の平断面図

【図7】従来のコンパクト型の化粧品容器の斜視図

【図8】図7の化粧品容器の蓋を開放して分解して示す斜視図

【符号の説明】

1 化粧品容器（従来）

10 蓋

20 本体

11 蝶番部

12 フック

13 鏡

21 蝶番部

22 長孔

24 挿着用突起

30 収納体

31 蓋

32 長孔

40 押し部材

41 押し部

42 結合片

43 掛止突起

100 化粧品容器（本発明の第1実施形態）

110 蓋

120 本体

120a 左側面

120b 右側面

111 蝶番部

112 蓋フック

121 蝶番部

122 長孔

123 ガイド部

124 支持片

130 本体フック部

140 押込杆部

145 支持杆部

150 弾性片

151 凹溝

160 押し部材

200 化粧品容器（本発明の第2実施形態）

210 蓋

220 本体

212 蓋フック

221 蝶番部

222 長孔

223 ガイド部

224 支持片

230 本体フック部

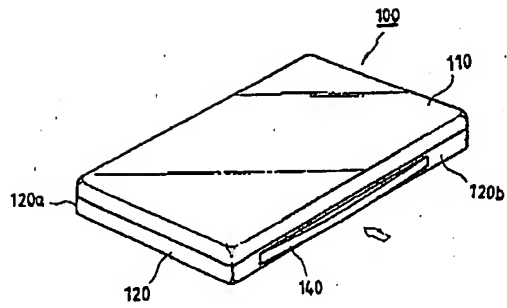
240 押込杆部

250 弾性片

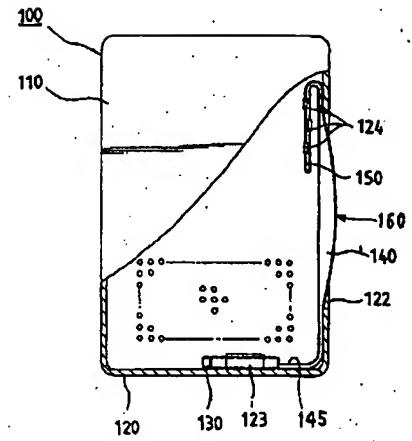
251 凹溝

260 押し部材

【図1】

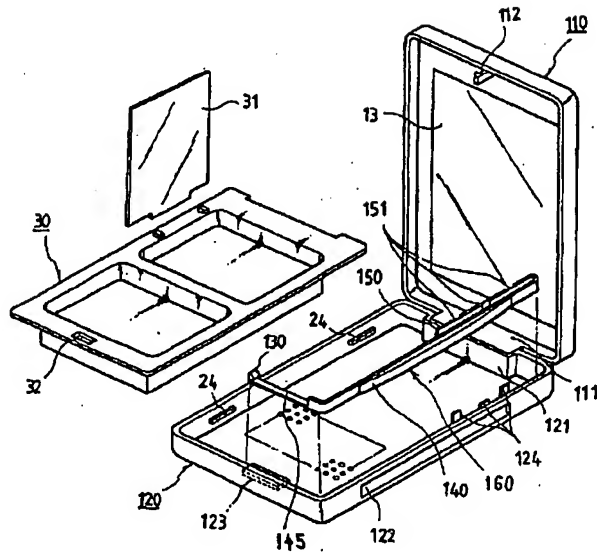


【図3】

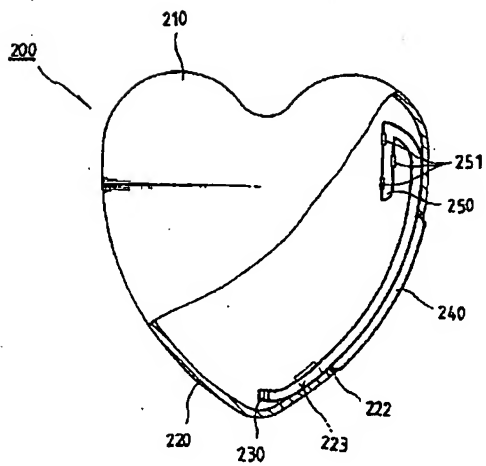


【図2】

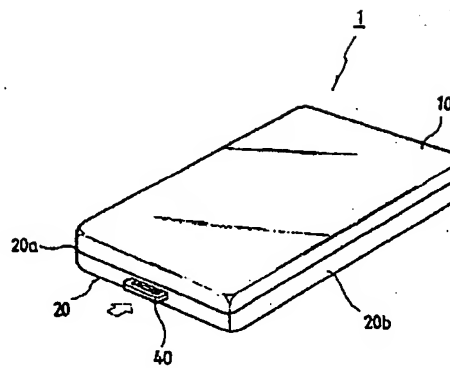
- 110…蓋
- 120…本体
- 112…蓋フック
- 130…本体フック
- 140…押込部
- 150…弾性片
- 124…支持片
- 122…長孔



【図6】

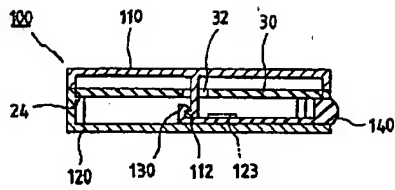


【図7】

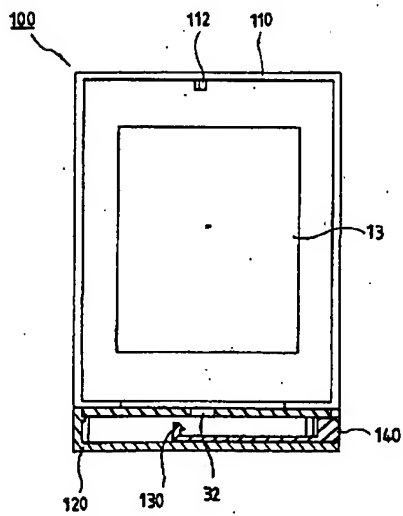


【図4】

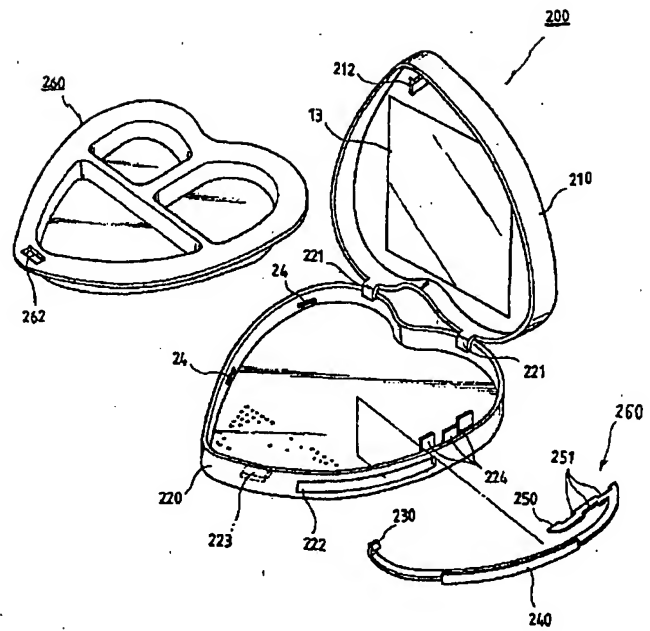
(a)



(b)



【図5】



【図8】

